

ペンタックスフォーラム写真展開催のご案内

作 者：山本 敏晴（やまもと としはる）

作 品 名：「沈みゆく島の大切なもの ツバルと地球温暖化」

（しずみゆくしまのたいせつなもの つばるとちきゅうおんだんか）

会 期：2008年8月20日（水）～9月1日（月）

時 間：10:30a.m.～6:30p.m.（最終日4:00p.m.終了）

定 休 日：火曜日

入 場：無料

会 場：ペンタックスフォーラム

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）
ペンタックス スクエア内 ペンタックスフォーラム
03（3348）2941 担当：松枝・江上

作品内容： 地球温暖化のため水没されると言われているツバル。その国の子どもたちが描いた「大切なもの」の絵と、それが描かれた社会背景を写した写真。沈むだけではないツバルの複雑な社会問題を提示したカラー作品35点で構成。

作者のコメント： 近年、地球温暖化のために海面が上昇しています。このため、太平洋の小さな島国「ツバル」は、やがて「沈んでしまう危機」にあると言われています。このツバルの子どもたちに「あなたの大切なものは何ですか？」という質問をし、それを絵に描いてもらいました。「僕の夢」「私の国」「地球温暖化を止めること」「聖書」「学校へ行くこと」「ゴミを減らすこと」。絵を描いてもらった後、その子どもたちの家庭を訪問し、どうしてその子が、それを大切だと思ったのかを綿密に取材し、そう思った社会背景を撮影することを試みました。絵と写真の両方を見て頂き、ツバル社会の複雑な問題を感じて頂ければ幸いです。

山本 敏晴

作者の略歴：1965年12月8日生まれ。宮城県仙台市出身。写真家・医師・国際協力師。1978年（小学校時）南アフリカ共和国を訪れ人種差別問題の現状に衝撃を受ける。中学校の頃から開発途上国を中心に70カ国以上を訪れ、一眼レフを片手に各地を撮影した。全国各地で多数の写真展を行った他、ニューヨーク、バルセロナ、サンパウロなどの海外でも開催。90年医師免許取得。96年医学博士取得。2000年より数々の国際協力団体に所属、開発途上国で医療援助活動を行う。2003年、NPO法人・宇宙船地球号を創設。「持続可能な世界」の実現を目指し、多方面にわたる活動を続ける。写真集に「シエラレオネ」（アートン）、「彼女の夢みたアフガニスタン」（マガジンハウス）、「あなたのたいせつなものはなんですか？・・・カンボジアより」、「地球温暖化、沈みゆく楽園ツバル」（以上、小学館）など多数。近年は映像作品の製作も行い、映画「ツバル 大切なものに導かれて」を2008年春に発表した。

「山本 敏晴 トークショー」 開催

日時：2008年8月30日（土）14:30～16:30 [会費制・要予約]

会場：フォーカル セミナールーム

東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB 階

ペンタックス スクエア内 03（3348）5838・（3348）2941